

夕刊 ちよばん 発行所 常磐新聞社 日刊 日曜日休刊 一月二角 一月五角 三月一元 半年二元 一年四元

小名川橋完成の暁

小名濱の中心地は埋立地に移動 有効幅員九メートルの大橋

小名濱町小名川尻埋立地には期せずして海岸に移動するもので恰も景物的存在で目下工事中の架橋は實に堂々たるものゝ如き竣工したるは實に工場の剰余金で出来

名灸の敬慕者多く つひに二日間日延

東京拓殖大学漢方醫學科講師 柳谷素靈先生

移轉問題

一 解決までの経過 既に過去の問題に属する嫌疑交渉委員を挙げた水野氏に對しては結果水野氏は無條件で工運と、解決の爲め調停に立つ

クズリ 資生堂 小名濱町 電話 二四七

揚線漁船の制限

茨城県が主体となり沿岸に各般に呼籲く合やり續つて廿日、廿一日の二日間日延べを快請され

軍用 鍛錬會

あす中校庭で 軍用候補馬鍛錬會は廿日午前十時から中校庭で訓練會を行ふ

表彰式

明日片倉製糸で 明日片倉製糸工場では明日午後九時から第九回従業員表彰式を取調中であつたが十七

氏の滿洲發展策に關する講演及び活動寫眞等がある 時から中器で幹部會を開き

日晝額を送檢された 三十分發列車で若松陸軍病院を訪れ慰問文と共に全

食事 喫茶 酒場 兼ねた レストラン サロンの電 町田市平 二五三

お灸の權威者

東京拓殖大学漢方醫學科講師 柳谷素靈先生 漢方醫學科講師 善行院

小名濱町有志後援會 二月廿日 全廿一日 兩日

のたが取締るべき警察官なればこそ、この懇嘆を見なければならぬ、警察官は平警署署長に昇格して、その次第として警部に進級する約東のある人であつた、たゞ、株式会社横山某の取引で失格するとは、神ならぬ身の豫知する管が、幸ひ、春秋に富む年輩で、習ひ、その本職を捨てて新に第一歩より社會のコーに飛込む猪狩氏として、スに飛込む猪狩氏として、東日社特派員の報告する處となり、帝國青年將校の總監とするに些の遜色なき奮闘振りに對して小名濱町民は本町の名譽として吾事であるが、實家に模倣を聞くべく親父立花雄七氏を訪問して御見舞を述べると、實家は更に通信もなく、たまに來信あれば無事だと云ふ簡單のもので、委しき通信一つした事がないと云ふ、而して部下を澤山殺してゐるのだから二度や三度の負傷では部下への償ひには足りぬものでない、常に伴に對しては家名を恥するなと激憤の手紙を出してゐると昂然として語つてゐた。

金物屋 問屋 釜屋商店 和洋金物 電話九番 九九番 平市

出張所開設 日東電機工業所小名濱出張所 家政婦會員多數募集 久保田家政婦會 産婆 久保田イネ 電話廿二番

酒銘 玉の井 長瀬彰義讓造元 玉川村林城 給仕(事務見習)若干名 右至急採用ス 希望者ハ來談サレタイ 運送店 小名濱町 電話一〇六番

北川外科 内臓外科 レントゲン科 花柳病科 泌尿器科 平市新川町(電話四六四番) 目下賣出し中 上海だより おしどり道中 勇士の純情 愛國行進曲 其他大衆盤種々入荷

湯本無盡 契約者本位 一家の延長として 御加入を御すすめる 丸八鐵工場 船舶陸機關 製作修膳 小名濱町築港入口 電話一七五番